

くさびえ 第77号

みどころ紹介

3ページ
講演会「小学校のことばの教室に通っている子どもが中学生になったら」



走って 笑って おしゃべりして お友だち たくさんできたよ

親子ふれあい学習会 in マザー牧場

7月25日、親子ふれあい学習会をマザー牧場（富津市）にて開催しました。例年になく猛暑の中でしたが、元気いっぱい楽しめました。ことばの教室に通っていた中学生・高校生3人がボランティアスタッフとして参加してくれました。

今年のテーマは「交流」です。午前中はたくさんの動物とふれあい、広大な牧場内を満喫。昼食後、ボランティアの高校生がデザインした「うちわ作り」や、役員手作りの「ことばカード」ゲームなどで子どもたちは大興奮。その間、保護者は男性・女性チームと分かれ、おしゃべり交流会をしました。違う学校の保護者と話せたことや、男性チームに中学生が混じったことなど、普段とは違う時間を過ごせて好評でした。昼食と合わせて2時間、たっぷりおしゃべり。会が終了した後も参加者同士で牧場内を散策したりと親睦を深めていた姿は微笑ましかったです。



9月9日、学習会第2弾「夜のZOOM交流会」を開催しました。顔見知りになった保護者同士、より突っ込んだ話題で盛り上がり、予定の時間を大幅に延長してしまいました。来年は更に工夫したいと思います。

参加しての感想



子 うちわ作りとことばのゲームなどがとても楽しかった。カレーは美味しかったけど少し辛かった。お友達もできたから楽しかった。遊び足りなかった。

親 他のお父さん達と交流する機会がないので、お話できて良かった。暑かったので、受付での塩タブレット配布、休みながらの移動も助かった。食後の交流時間もあり、色々な話ができた。話すテーマを事前に考えてあったので、スムーズに会話ができた。他の方の話を聞く機会を設けていただけで、自分と同じ考えだったり、この先に起こりうることを考えるきっかけになったりとても参考になった。母同士交流できて良かった、父同士の話は共感できた。

安心して学べることばの教室を

会員の声を集めた「要望書」を届けています

難聴・言語の通級指導教室（ことば・きこえの教室）に通う児童生徒、学校生活などに関する各地の状況を理事会などで取り上げています。それを基に会員のみなさんの声を「要望書」として半世紀、毎年、関係機関へ提出しています。主な内容を紹介します。

ことばの先生のスキルアップ応援 後継者の育成

- 専門性の高い人材の採用
- 大学と協力し、言語障害教育を学んだ人材の育成
- 長期研修の奨励

当会ホームページには、要望書全文や用語の細説を掲載しています

校内の全先生がことばの子どもへの理解と配慮

- 管理職の先生、クラス担任など生徒に関わる方の理解と連携
- 言語の指導を必要とする特別支援学級の生徒の正式な通級許可

幼児期からの言語検査と常設幼児ことばの教室

- 全ての市町村で幼児の相談・指導ができるの常設教室
- 全ての就学前幼児の言語検査
- 5歳児健診などで言語検査
- 福祉関連部署との連携の促進

要望書

6つの柱

ことばの先生が安心して働けるサポート体制

- 言語の通級指導教室の設置校にことばの先生を複数名配置
- 新しいことばの先生に指導教員を

子どもが安心してことばを学べる環境を

- 巡回校数はことばの先生1人当たり2校まで
- 個別指導がベースの通級指導への校内の理解
- 言語指導に適した教室の確保
- 巡回校でも設置校と同等の校内理解と条件整備

中学生が通えることばの教室を

- 中学校でも通級指導を希望する生徒の実状把握
- 全ての市町村に中学生が通いやすい通級指導教室の設置
- 言語の通級指導を担当できる中学校教諭の育成を早急に

要望書提出

12月7日、当会を代表して役員が県庁を訪問し、県教委と県健康福祉部にそれぞれ要望書を提出しました。今年の要望書には、ことばの先生が受け持つ巡回校数を1人あたり2校までとしてほしいなどの要望を新たに追加しました。

「ことば」はことば・きこえの略だよ

県教委との話し合い 2/22 行ってきました

全国マニことばを育てる会

2023 講演会

『小学校のことばの教室に通っている子どもが中学生になったら』
～ 子どもたちを支えるために、今できること～

講師の滑川典宏先生は、国立特別支援教育総合研究所の言語障害研究者。元ことばの先生で、難聴の子のお父さんです。ご自身の子育ての経験をベースに保護者とことばの先生と一緒に泣いて、笑って、喜んで、子どもの成長を信じて見守る滑川流「楽しい親学」

子どもと話すのにコンビニまで散歩するのマネしてみます

低学年の子を持つ私にも共感できる内容です自分の子育てに自信が持てました



言語部会との交流会

1月27日、ことば・きこえの教室の大多数の先生が所属している言語部会との交流会をリモートで開催しました。言語部会の事務局(千葉市)から、清田志保事務局長はじめ4名の先生に参加いただきました。

今回、参加された先生は全員が千葉市在籍。市内の学校の様子や先生方の勤務状況などを教えて頂きました。全ての教室が複数担当制で、中には6人の所もあるそうです。ただ通級は複数同時に通うことが出来ないことや、きこえの先生からは幅広い指導が求められることが目下の課題であることなど、貴重なご意見をお聞き出来ました。

これからも交流を続けていきたいと改めて思います。



YouTube



会員限定 配信中

視聴するには……

- 1 ☑ ホームページ「会員専用」
- 2 ☑ 公式LINE リッチメニュー
- 3 ☑ 講演会チラシ QRコード

千葉県特別支援研究連盟推進大会 感謝状 受賞

Congratulations



元副会長 松本恵子さん

千葉県ことばを育てる会の皆様には、一から教えて頂き、支えて頂きました。感謝の気持ちで一杯です。このような表彰までして頂き、重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。

世の中が、すごいはやさで動いていくなか、『つながる・つなぐ』ことは、たくさんの笑顔がうまれることでしょう。貴会のご活躍、祈念しております。

つながって元気 全国大会

全国大会が11月11日、リモートで開催されました。千葉県は、小・中学校のことば・きこえの教室に通う家族が会員の中心ですが、全国では、幼児の言語指導教室つながり、特別支援学級つながりなど、色々あることが分かりました。

ある県では、教室をお子さんが終了しても会員家族の交流は続き、当事者のご兄弟が会の運営に参加するようになるなど、会員の世代の幅広さに驚きました。

会があってこそ今 関東ブロック会議

10月14日、関東近県の交流をはかる関東ブロック会議が開催されました。茨城県ことばを育てる会、群馬県ことばを育てる親の会と、リモートで実施しました。

ベテラン～若手の役員、ご自身のお子さんがことばの教室に通級していることばの先生なども参加。共通の悩みに話は盛り上がりしました。

今後の活動や新しい会員を迎えるアイディアなどを活発に話し合い、情熱的な交流会となりました。



待っていた横のつながり

各地で広がる笑顔の輪

4年ぶりに各地の行事が戻って来ました。「この日が来るを待っていた」「再開するのは大変だったけど集まれて嬉しかった」と、みなさんの声が届いています。また自治体との話し合いや要望活動も、各地区でも継続されています。会の運営は苦労も多いと思いますが、子どもたちの笑顔のバトンをこれからもつないでいきたいですね。

成田市ことばを育む親の会

成田市ことばを育む親の会が
役員改選にともない
私たちの仲間に復活しました。
幼児期からのつながりで
世代を超えて
家族ぐるみの交流を
続けている会です。

館山

- エコバック作り
 - 勉強会「今の子どもの様子と相談」
 - 学習会「家庭での子どもとの接し方」
- 尾山恵美先生



船橋

- 親子レク スワッグ作り
 - 講演会「子どもに話してあげたい性のおはなし」
- あみちえ先生



鎌ヶ谷

- 親睦会 キャンドルの作成と交流
 - クリスマス会
- けん玉の元世界チャンピオン福田さんのパフォーマンス（ことばの教室卒業生）



長生

- 総会&座談会「子育てQ&A」
元小学校長 伊藤雅敏先生
- 親子レク ボッチャ体験

山武

- 夏のイベント ことば祭り
- 月1のランチ会
- 教育委員会との話し合い

野田

- 親子レク「親子で遊ぼう！」
もりのゆうえんち
- 講演会「家庭でできる不登校、いじめ対策」
市カウンセラー高井千鶴先生
- 懇談会「みんなで子育ての事を語りあいませんか？」
中学生の保護者への質疑応答
おすすめアプリの紹介など



編集後記

年明け早々の災害や事故で胸が痛み涙が出ます。お見舞いを申し上げますと共に一日も早く平穏な生活に戻れます事を心よりお祈り申し上げます。年度末ですね。春からは何をしましょうか。私は会いたい人に会いに行きます。みなさんの春の予定はありますか。

〒292-0822
木更津市桜井1450
090-2666-6843 宮本
chibakenn5108@gmail.com



活動予定

- 12月より 講演会YouTube配信中
* 3面に紹介記事あり
- R6年度
- 5月上旬 第1回理事会
- 6月上旬 全国ことばを育む会 研修会・総会
- 〃 千葉県ことばを育てる会 総会
- 〃 第2回 理事会

